

平成30年度使用広島市立高等学校
中等教育学校（後期課程）用
教科用図書に係る学校別選定手順、
選定資料及び申請書等

(様式1)

| | |
|----|-----|
| 校番 | 高 1 |
|----|-----|

平成29年7月14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板 倉 宏 治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定資料（報告）

| 月 日 (曜日) | 選 定 手 順 の 内 容 |
|----------------|--|
| 5月31日 (水) | ・平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書採択事務説明会に出席する。 |
| 6月 5日 (月) | ・校長は校内における平成30年度使用教科用図書選定に係わる事務の推進を行うために、「平成30年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。 ・選定委員会において、教科用図書選定が適正かつ公正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。 ・校長は、調査員を任命する。 ・選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。 |
| 6月 5日 (月) ～ | ・調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。 ・調査員は調査結果を選定委員会に報告する。 |
| 7月11日 (火) | ・選定委員会を開催し、平成30年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。 |
| 7月14日 (金) | ・校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成30年度使用教科用図書申請書を作成する。 ・校長は、広島市教育委員会へ、平成30年度使用教科用図書申請書を提出する。 |

(様式2)

| | |
|----|-----|
| 校番 | 高 1 |
|----|-----|

平成29年 7月14日

広島市教育長様

(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

1 学校の特徴

学問の習得や芸術文化の探究を通じて、自己の能力と人格を主体的に磨き、優れた知性と品格、生涯にわたって学び続ける力を身につけることにより、多様化が進む時代の中で、人類の幸福に貢献する崇高な志と未来を切り拓く豊かな創造力を持った有為な人物の育成に努めている。

普通科普通では、基礎的な知識・技能、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、主体的に学ぶ態度をバランスよく育成する。さらに、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、各教科等で身に付けた資質・能力を活用し、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成することを目指している。

普通科創造表現コースでは、「国際平和文化都市」広島で学ぶ高校生として、未来の文化を創造し、表現活動を通して個性を磨き、国際社会が求める創造的な人材を育成することを目指している。

2 生徒の実態

普通科普通は、県内広域から高い学力を有した生徒が入学してきている。難関国公立大学への進学希望が多く、近年は、最難関大学・医学系への進学希望者が増加している。授業や家庭学習において自ら意欲的に学習に取り組んでおり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得はもとより、それらを活用して、難易度の高い発展的な内容の学習を希望する生徒が多くいる。


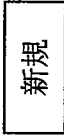
普通科創造表現コースは、県内広域から美術に興味を持ち、高い技術を有した生徒が入学してきている。多くの生徒が4年制の美術系大学への進学を希望している。生徒は、進路実現や学力向上への意欲が高く、基礎的な学力の定着と美術の専門的な技能等の向上の両立に向け積極的に努力している。

3 調査の観点及び視点

| | 観点 | 視点 |
|---|-------------|--|
| ① | 基礎基本の定着 | ○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述 |
| ② | 学習方法の工夫 | ○興味・関心を高めるための工夫 ○問題解決的な学習を実施するための工夫 |
| ③ | 内容の構成・配列・分量 | ○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫 |
| ④ | 内容の表現・表記 | ○配色や文字の大きさ等の工夫 ○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 |
| ⑤ | 言語活動の充実 | ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫 ○学校図書館機能の活用 |
| ⑥ | 発展的内容の充実 | ○発展的な学習内容の扱い方 ○発展的な内容の配列・表記等 |

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 新規で選定した教科書は「新規の選定」欄に「新規」と記載すること。
* 「新規」と記載するものうち、は新規の申請、は改訂版とする。
- 3 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 4 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 5 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------|-----------|---------------|---------------|--------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| 1 | 国語 | 国語総合 | | 2 東書 | 国総 333 | 精選国語総合 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 思考力・判断力・表現力の育成に向け、各単元扉に単元の学習目標を示すとともに「表現と言に、現代文編では教材ごとに「表現と言語活動」を、古典編では適宜「言語活動」を設定している。 |
| | | | | 50 大修館 | 国総 346 | 精選国語総合 新訂版 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| 2 | 国語 | 現代文B | 新規 | 15 三省堂 | 現B 323 | 高等学校現代文B 改訂版 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | 読書に対する生徒の興味・関心を高めるため、巻末に「読書の扉」を掲載している。また、発展的な学習を行うことができるよう、教材に合わせて「現代評論を読むために」を設定している。 |
| | | | | 50 大修館 | 現B 331 | 精選現代文B 新訂版 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | |
| 2 | 国語 | 古典B | 新規 | 2 東書 | 古B 331 | 精選古典B 古文編 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 問題解決的な学習が充実するよう、教材ごとに「学習の手引き」を設けている。また、発展的な言語活動ができるよう、適宜「言語活動」を設けている。 |
| | | | | 15 三省堂 | 古B 333 | 高等学校古典B 古文編 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 国語 | 古典B | 新規 | 2 東書 | 古B 332 | 精選古典B 漢文編 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 問題解決的な学習が充実するよう、教材ごとに「学習の手引き」を設けている。また、発展的な学習が行えるよう、適宜「参考」を掲載している。 |
| | | | | 15 三省堂 | 古B 334 | 高等学校古典B 漢文編 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| ③ | 国語 | 現代文B | | 117 明治 | 現B 313 | 精選現代文B | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | 生徒の興味・関心に応じ、発展的な学習を行うことができるよう、巻末資料に「小論文の書き方」や「創作への導き」を掲載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 国語 | 古典B | | 15 三省堂 | 古B 304 | 高等学校古典B 古文編 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 古典を読むことに興味・関心を持たせるため、教材に関連した発展的な内容や補足的な解説をまとめたコラムを掲載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その2)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|------|-------|-----------|---------------|---------------|-----------------|-------|------|-----|------|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| ③ | 国語 | 古典B | | 15 三省堂 | 古B 305 | 高等学校古典B 漢文編 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 古典を読むことに興味・関心を持たせるため、教材に関連した発展的な内容や補足的な解説をまとめたコラムを掲載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 地理歴史 | 世界史A | | 81 山川 | 世A 315 | 現代の世界史 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 生徒が興味・関心を持って主体的に学習に取り組めるよう「主題学習」のページを設けている。探究的な学習として、「原爆投下について考える」の題材を設定し平和学習との関連を図っている。 |
| | | | | 2 東書 | 世A 310 | 世界史A | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | |
| 2 | 地理歴史 | 世界史B | | 2 東書 | 世B 308 | 世界史B | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 発展的な学習の充実を図るため、適宜「深める」を設け、学習したこと |
| | | | | 81 山川 | 世B 310 | 詳説世界史 改訂版 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | をさらに追究させる課題を設けている。 |
| 3 | 地理歴史 | 世界史B | | 2 東書 | 世B 308 | 世界史B | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 発展的な学習の充実を図るため、適宜「深める」を設け、学習したこと |
| | | | | 81 山川 | 世B 310 | 詳説世界史 改訂版 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | をさらに追究させる課題を設けている。 |
| ③ | 地理歴史 | 世界史研究 | | 2 東書 | 世B 308 | 世界史B | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 発展的な学習の充実を図るため、適宜「深める」を設け、学習したこと |
| | | | | | | | | | | | | | をさらに追究させる課題を設けている。 |
| 2 | 地理歴史 | 日本史A | | 81 山川 | 日A 311 | 日本史A 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 選定 生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、内容を深めるための「コラム」を適宜設けている。 |
| | | | | 2 東書 | 日A 308 | 日本史A 現代からの歴史 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書（その3）

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 |
|----|------|-----------|-----------|-----------------|---------------|------------------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| 2 | 地理歴史 | 日本史B | | 81 山川 | 日B 309 | 詳説日本史 改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができるよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。 |
| | | | | 81 山川 | 日B 315 | 新日本史 改訂版 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 地理歴史 | 日本史B | | 81 山川 | 日B 309 | 詳説日本史 改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができるよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。 |
| | | | | 81 山川 | 日B 315 | 新日本史 改訂版 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| ③ | 地理歴史 | 日本史研 究 | | 81 山川 | 日B 309 | 詳説日本史 改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 生徒が史料を通して歴史的事象を考察することができるよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 地理歴史 | 地理A | | 183 第一 帝国 | 地A 310 | 高等学校 新版 地理A 世界に目を向け、地域を学ぶ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | 発展的な学習の充実を図るため、小単元ごとに調べたり、話し合ったりする課題を示した「学習を深めよう」を設けている。 |
| | | | | 46 帝国 | 地A 308 | 高等学校 新地理A | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 地理歴史 | 地理A | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 生徒が主体的に活用することができるよう、主題図や資料をもとに考察する課題を適宜設けている。 |
| | | | | 130 二宮 | 地図 314 | 高等地図帳 改訂版 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 | 地B 304 | 新詳地理B | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 地理的な考察が可能となるよう、グラフや地図などに読図の視点を設けている。また、分かりやすい用語解説を記載している。 |
| | | | | 130 二宮 | 地B 305 | 新編 詳解地理B 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |

| | |
|----|-----|
| 校番 | 高 1 |
|----|-----|

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 |
|----|------|------|-----------|---------------|---------------|------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | | |
| 2 | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 生徒が主体的に活用することができ るよう、主題図や資料をもとに考察 する課題を適宜設けている。 |
| | | | | 130 二宮 | 地図 314 | 高等地図帳 改訂版 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3 | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 | 地B 304 | 新詳地理B | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 地理的な考察が可能となるよう、グ ラフや地図などに読図の視点を設け ている。また、分かりやすい用語解 説を記載している。 |
| | | | | 130 二宮 | 地B 305 | 新編 詳解地理B 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理B | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 生徒が主体的に活用することができ るよう、主題図や資料をもとに考察 する課題を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理研究 | | 46 帝国 | 地B 304 | 新詳地理B | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 地理的な考察が可能となるよう、グ ラフや地図などに読図の視点を設け ている。また、分かりやすい用語解 説を記載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 地理歴史 | 地理研究 | | 46 帝国 | 地図 310 | 新詳高等地図 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 生徒が主体的に活用することができ るよう、主題図や資料をもとに考察 する課題を適宜設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 公民 | 現代社会 | | 183 第一 | 現社 321 | 高等学校 改訂版 現代社会 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 「ともに生きる社会をめざして」の単 元では、言語活動に主体的に取り組 めるよう課題を設定している。探究 的な学習に取り組めるよう具体例を 複数示している。 |
| | | | | 35 清水 | 現社 317 | 高等学校 新訂版 現代社会 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |

(様式3)

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その5)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の選定 | 発行者の番号、略称 | 教科書の記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|-------|-------|-----------|-------------|-----------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | | |
| 3 | 公民 | 公民総合 | 新規 | 2 東書 | 倫理 311 | 倫理 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 各章や節で学習した事柄に関連した発展的な学習ができるよう、特設ページ「思想の窓」を適宜設けている。 |
| | | | | 35 清水 | 倫理 308 | 高等学校 新倫理 新訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| 1 | 数学 | 数学I | | 104 数研 | 数I 327 | 改訂版 数学I | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 学習事項を発展させ、生徒が興味関心に応じて探究的な学習ができるよう、巻末に7テーマ計25題の「課題学習」を設けている。 |
| | | | | 61 啓林館 | 数I 324 | 詳説 数学I 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | スムーズに高校で学習する内容に取り組みめるよう、中学校で学習した基本事項を巻末に設けている。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。 |
| 1 | 数学 | 数学I | | 104 数研 | 数I 328 | 改訂版 高等学校 数学I | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。 |
| | | | | 61 啓林館 | 数I 325 | 数学I 改訂版 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。 |
| 1 | 数学 | 数学II | 新規 | 104 数研 | 数II 327 | 改訂版 数学II | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。 |
| | | | | 61 啓林館 | 数II 324 | 詳説 数学II 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | 発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。 |
| ② | 数学 | 数学II | | 104 数研 | 数II 309 | 数学II | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | 学習内容の定着を確認できよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。 |
| 2 | 数学 | 数学III | | 104 数研 | 数III 308 | 数学III | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 学習内容の定着を確認できよう、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。 |
| | | | | 2 東書 | 数III 301 | 数学III | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | |

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その6)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新刊の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 |
|----|-----|------------------|-----------|------------------------|------------------------|--------------------------|-------|------|-----|------|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | | |
| ③ | 数学 | 数学Ⅲ | | 104 数研 | 数Ⅲ 308 | 数学Ⅲ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 | 学習内容の定着を確認できるよう、 節末問題は参考となる問題番号を付 している。また、章末問題は、その 章の復習問題をA、総合的な問題をB と分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 数学 | 数学A | | 104 数研 61 啓林館 | 数A 327 数A 324 | 改訂版 数学A 詳説 数学A改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 | 学習事項を発展させ、生徒が興味関 心に応じて探究的な学習ができるよ う、巻末に10テーマ計28題の 「課題学習」を設けている。 |
| | | | | | | | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | |
| 2 | 数学 | 数学A | 新規 | 104 数研 2 東書 | 数A 328 数A 302 | 改訂版 高等学校 数学A 新編数学A | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 | 基礎基本の定着を図ることができ よう、節末問題には参考とするペー ジを付しており、章末問題は難易に よってA、Bに分類している。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| 2 | 数学 | 数学B | | 104 数研 2 東書 | 数B 309 数B 301 | 数学B 数学B | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 発展的な内容を「研究」として適 宜、設けており、学習指導要領の範 囲を超えた「発展」と分類して示し ている。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | | |
| ② | 数学 | 数学演習 α | | 104 数研 | 数I 328 | 改訂版 高等学校 数学I | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | スムーズに高校で学習する内容に取 り組めるよう、中学校で学習した基 本事項を巻末に設けている。また、 章末問題は、その章の復習問題をA、 総合的な問題をBと分類して示してい る。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学演習 A | | 104 数研 | 数B 309 | 数学B | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 | 発展的な内容を「研究」として適 宜、設けており、学習指導要領の範 囲を超えた「発展」と分類して示し ている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長 様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書（その7）

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選 定 の 理 由 |
|----|-----|-------------|-----------|---------------|---------------|---------------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| ③ | 数学 | 数学演習 B | | 104 数研 | 数B 309 | 数学B | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 発展的な内容を「研究」として適宜、設けており、学習指導要領の範囲を超えた「発展」と分類して示している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 数学 | 数学演習 β | | 104 数研 | 数A 311 | 高等学校 数学A | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図ることができるように、節末問題には参考とすることができよう、例題番号を付している。また、章末問題は難易によってA、Bに分類している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 理科 | 科学と 人間生活 | | 61 啓林館 | 科人 302 | 科学と人間生活 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 生徒の興味・関心を高めることができるよう、写真やイラストを中心に構成した「見てみよう」や、簡単な実験を紹介する「やってみよう」を掲載している。 |
| | | | | 183 第一 | 科人 309 | 高等学校 科学と人間生活 改訂版 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 学習を振り返り、基礎基本の定着ができるよう、「特講」を設けている。また、学習をさらに深めることができるよう、発展の例題や問を設定している。 |
| 1 | 理科 | 物理基礎 | | 183 第一 | 物基 320 | 高等学校 改訂 物理基礎 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図るとともに、「節末問題」に難易度の異なる2種類の問題を設定している。また、発展的な学習ができるよう「特講」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 物基 318 | 改訂版 物理基礎 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| 2 | 理科 | 物理 | 新規 | 183 第一 | 物理 316 | 高等学校 改訂 物理 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図るとともに、学習内容を深めることができるよう、「節末問題」に難易度の異なる2種類の問題を設定している。 |
| | | | | 104 数研 | 物理 313 | 改訂版 物理 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| ③ | 理科 | 物理 | | 183 第一 | 物理 305 | 高等学校 物理 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図るとともに、学習内容を深めることができるよう、「節末問題」に難易度の異なる2種類の問題を設定している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |

広島市教育長様
(学校教育指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書（その8）

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------|----------|---------------|---------------|-----------------|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | | |
| 2 | 理科 | 化学基礎 | | 61 啓林館 | 化基 318 | 化学基礎 改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図ることができるよう、本文の要点をまとめた「整理」や章のまとめ、章末の問題を設定している。また、学習内容を深めることができるよう、本文を補足する「プラス」を設定している。 |
| | | | | 104 数研 | 化基 319 | 改訂版 化学基礎 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 理科 | 化学 | 新規 | 61 啓林館 | 化学 312 | 化学 改訂版 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図ることができるよう、各章に章末問題が掲載されている。また、発展的な学習ができるよう、本文の内容を深めるための「発展」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 化学 313 | 改訂版 化学 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ③ | 理科 | 化学 | | 61 啓林館 | 化学 305 | 化学 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図ることができるよう、各章に章末問題が掲載されている。また、発展的な学習ができるよう、本文の内容を深めるための「発展」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 理科 | 化学演習 | | 61 啓林館 | 化基 318 | 化学基礎 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 基礎基本の定着を図ることができるよう、本文の要点をまとめた「整理」や章のまとめ、章末の問題を設定している。また、学習内容を深めることができるよう、本文を補足する「プラス」を設定している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 理科 | 生物基礎 | | 183 第一 | 生基 318 | 高等学校 改訂 生物基礎 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 見通しをもって学習することができるよう、章末に単元のまとめ「整理」を掲載している。また、生徒の興味・関心に応じ、学習を深めることができるよう、「発展」や「参考」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 生基 316 | 改訂版 生物基礎 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 理科 | 生物基礎 | | 183 第一 | 生基 318 | 改訂 高等学校 生物基礎 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 見通しをもって学習することができるよう、章末に単元のまとめ「整理」を掲載している。また、生徒の興味・関心に応じ、学習を深めることができるよう、「発展」や「参考」を設けている。 |
| | | | | 104 数研 | 生基 316 | 改訂版 生物基礎 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

(様式3)

校番 高1

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その9)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|------|------|-----------|---------------|---------------|------------------|-------|------|-----|------|------|----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| 2 | 理科 | 生物 | 新規 | 183 第一 | 生物 311 | 改訂 高等学校 生物 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 学習内容の定着を図るよう、重要事項を「整理」としてまとめている。また、生徒の興味・関心を高めることができるよう、「参考」を掲載している。 |
| | | | | 104 数研 | 生物 310 | 改訂版 生物 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | |
| ③ | 理科 | 生物 | | 183 第一 | 生物 304 | 高等学校 生物 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 学習内容の定着を図るよう、重要事項を「整理」としてまとめている。また、生徒の興味・関心を高めることができるよう、「参考」を掲載している。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 理科 | 生物演習 | | 183 第一 | 生基 308 | 高等学校 生物基礎 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 生徒が主体的に探究活動に取り組めるよう、探究活動の手順や留意点等のまとめが掲載されている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 理科 | 地学基礎 | | 104 数研 | 地基 304 | 地学基礎 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 学習内容の理解を深めることができるよう、本文の図を補足した「図の解説」を掲載している。また、学習内容を深めることが可能となるよう、「発展」を設けている。 |
| | | | | 61 啓林館 | 地基 308 | 地学基礎 改訂版 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| ③ | 理科 | 地学演習 | | 104 数研 | 地基 304 | 地学基礎 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 学習内容の理解を深めることができるよう、本文の図を補足した「図の解説」を掲載している。また、学習内容を深めることが可能となるよう、「発展」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 保健体育 | 保健 | | 50 大修館 | 保体 304 | 現代高等保健体育 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 発展的な内容を学習できるよう、学習内容の背景を理解できる読み物「歴史からみたまざまな健康のとらえ方」「過去の公害から学ぶ環境問題」などを設けている。 |
| | | | | 183 第一 | 保体 306 | 高等学校 改訂版 保健体育 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |

(様式3)

| | |
|----|----|
| 校番 | 高1 |
|----|----|

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書（その10）

| 学 年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書 名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選 定 | 理 由 |
|-----|------|------|-----------|---------------|---------------|-----------------|-------|------|-----|------|------|----|-----|--|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | | |
| ② | 保健体育 | 保健 | | 50 大修館 | 保体 304 | 現代高等保健体育 改訂版 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 選定 | 発展的な内容を学習できるよう、学習内容の背景を理解できる読み物「歴史からさまざまな健康のとらえ方」「過去の公害から学ぶ環境問題」などを設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 芸術 | 音楽 I | | 27 教芸 | 音 I 310 | MOUSA 1 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | 選定 | 見通しをもって学習に取り組むことができるよう、見聞きごとに学習のめあてを示している。また、言語活動の充実を図るため「アンサンブルを楽しむ」や「鑑賞のポイント」を設けている。 |
| | | | | 89 友社 | 音 I 312 | 改訂版 ON! 1 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3 | 芸術 | 音楽表現 | 新編 | 27 教芸 | 音 II 310 | MOUSA 2 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 選定 | 発展的な内容が学習できよう、「創作」が設定されている。また、生徒の興味・関心を高めるため、「外国語の歌」を示している。 |
| | | | | 89 友社 | 音 II 312 | 改訂版 ON! 2 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | | |
| 1 | 芸術 | 美術 I | | 116 日文 | 美 I 305 | 高校生の美術 1 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 選定 | 作者の表現の工夫が読み取れるよう、原寸大で作品を掲載するページを設定している。また、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう、美術を学ぶ意義を考える項目を設けている。 |
| | | | | 38 光村 | 美 I 304 | 美術 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | |
| ③ | 芸術 | 造形演習 | | 116 日文 | 美 I 302 | 高校美術 1 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | 選定 | 生徒の発展的な学習につながるよう、多様なジャンルについての記載が豊富であるとともに、説明が詳細で理解しやすい。 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 芸術 | 書道 I | | 2 東書 | 書 I 305 | 書道 I | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 | 生徒が拓本の特徴の違いに気づきながら学習できるよう、ページごとに拓本を複数掲載している。 |
| | | | | 17 教出 | 書 I 307 | 新編 書道 I | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

校番 高1

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年7月14日

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その11)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新編の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|-----------------|-----------|---------------|---------------|---|-------|------|-----|------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現表記 | 言語活動 | 発展 | |
| ③ | 芸術 | 書道表現 | | 2 東書 | 書 I 301 | 書道 I | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 生徒が拓本の特徴の違いに気づきながら主体的に学習できるよう、ページごとに拓本を複数掲載している。 |
| 1 | 外国語 | コミュニケーション英語 I | 新規 | 177 増進堂 | コ I 348 | MAINSTREAM English Communication I Second Edition | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 生徒が英語での発信能力を身に付けることができるよう、各レッスンの終わりの「Activity」において、意見を述べたり、話し合ったりする言語活動を設定している。 |
| 1 | 外国語 | 英語表現 I | | 231 いいずな | 英 I 341 | PROMINENCE English Communication I | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 生徒が学習したことを生かして言語活動を行うことができるよう、グループで話し合ったり、発表したりする「Group Work」を設けている。 |
| 2 | 外国語 | コミュニケーション英語 II | 新規 | 104 数研 | 英 I 332 | DUALSCOPE English Expression I | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 生徒が本文の内容理解を深め、英語での発信能力を身に付けることができるよう、各レッスンの終わりの「Communication Activity」において、「Retelling & Speaking」で話し合ったり書いたりする言語活動を設定している。 |
| 2 | 外国語 | 英語表現 II | 新規 | 231 いいずな | 英 II 332 | PROMINENCE English Communication II | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 英語で表現するために必要な文法を理解し、その知識を定着させ、英語での発信能力を高めることができるよう、各レッスンに「Practice」を設けている。 |
| 3 | 外国語 | コミュニケーション英語 III | 新規 | 61 啓林館 | 英 II 307 | ELEMENT English Communication II | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 発展的な読解の技能を身に付けることができるよう、「Discourse Navigator」を設けていることに加え、英語での発信能力を高めることができるよう、各レッスンの終わりに「Deepen Your Thoughts!」を設けている。 |

学校名 広島市立基町高等学校

校長名 板倉 宏治

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その12)

| 学年 | 教科名 | 科目名 | 新規の 選定 | 発行者の 番号、略称 | 教科書の 記号、番号 | 書名 | 観点の評価 | | | | | 選定 | 選定の理由 |
|----|-----|------------|-----------|------------------------|------------------------|---|-------|------|-----|-------|------|----|---|
| | | | | | | | 基礎基本 | 学習方法 | 構成等 | 表現・表記 | 言語活動 | 発展 | |
| ③ | 外国語 | 英語表現 II | | 61 啓林館 | 英II 307 | Vision Quest English Expression II | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 選定 文の基本的な構成からプレゼンテーションやディベートといった発展的な表現へと段階的に学ぶことができるよう、教科書を3パートに分けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 外国語 | 英語講読 | | 61 啓林館 | コII 313 | ELEMENT English Communication II | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | 選定 生徒がオールイングリッシュの授業に親しみ、自分の意見を述べる言語活動が充実するよう、「Communication Activity」を設けている。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 家庭 | 家庭基礎 | 新規 | 7 実教 183 第一 | 家基 314 家基 320 | 新家庭基礎 パートナ シップでつくる未来 高等学校 新版 家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未 来をつくる | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | 選定 課題解決的な学習を行うことができ るよう、章末に「WORLD NOTE」を設 け、各章の内容に関連する課題を例 示している。 |
| | | | | | | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | |
| ③ | 家庭 | 家庭基礎 研究 | | 2東書 | 家基 301 | 家庭基礎 自立・共生・創造 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 選定 生徒の興味・関心に応じ発展的な学 習を行うことができるよう、巻末に 家庭科に関わる課題について自分の 考えをまとめる方法を掲載してい る。 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 情報 | 社会と情 報 | | 104 数研 116 日文 | 社情 314 社情 317 | 改訂版 高等学校 社会と情報 新・見てわかる社会と 情報 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 選定 身近な情報機器の在り方について考 えることができるよう、表紙の見返 りでSNSや携帯電話について取り上げ ている。また、プレゼンテーション に関する内容では、発表場面につい ても記載している。 |
| | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

(様式4)

広島市立基町高等学校平成30年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立基町高等学校平成30年度使用教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員10人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 校長・教頭・事務長・教務主任
- (2) 保護者代表、学校協力者会議委員代表、学識経験者
- 2 委員の任命及び委嘱は校長が行う。
- 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の8月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、校長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立基町高等学校において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成29年6月5日から施行する。